

登録コード	FSC22500	開講年度	2026			
授業題目	環境人間工学特論				担当教員	佐古井 智紀
英文授業名	Environmental Ergonomics				副担当	
単位数	2	講義期間	前期(後半)	曜日・時限	月曜・4時限 月曜・5時限	対象学生
講義室	繊維 2 5 番講義室		授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】
	26FS初・繊維学					
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力				⇔	基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力
	【専攻】専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力				⇔	専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力
(2)授業の概要	前半は物理刺激移に基づく環境評価法について学ぶ。後半は生活環境評価に関する文献を調査し、発表形式で手法の妥当性を考える。					
(3)授業計画	第1回 ガイダンス 第2～3回 光の評価 第4～5回 音の評価 第6～7回 熱の評価 第8～14回 文献調査と発表形式での討論					
(4)成績評価の方法	発表形式での討論とレジュメを基に評価する。					
(5)成績評価の基準	発表形式での討論とレジュメから判断する。授業の前半で学んだこと、自身で学習したことを基に、人間と環境の相互作用について合理的に判断し、判断にあたっての考え方を説明できれば合格水準から見て卓越していると、授業の前半で学んだこと、自身で学習したことを基に、人間と環境の相互作用について合理的に判断できれば合格水準から見てかなり上にあると、授業の前半で学んだこと、自身で学習したことを基に、人間と環境の相互作用を説明できれば、合格水準から見てやや上にあると、授業の前半で学んだことを取得し、自身で人間と環境の相互作用の文献を読み解くことが出来れば合格水準にあると判断する。					
(6)事前事後学習の内容	討論とレジュメ作成の準備のための自習が必要になります。					
(7)履修上の注意						
(8)質問,相談への対応	随時受け付ける					
(9)授業の形式	前半は講義、後半は論文購読と発表。ZOOMで、講義の時間帯に、対面またはオンラインで実施します。					
(10)学生へのメッセージ	住環境の評価理論を対象とした講義です。基礎理論を考え、導出できる人になるため、受講生は、理論の導出を自身で行ってほしいと期待します。					
【教科書】	特になし					
【参考書】	特になし					